

392

特 249

836

昭和十六年五月

最近のシンガポール事情
附 南洋華僑に就きて

熱帯文化協會

印刷代賤寫



始



待 249
836

は し が き

◎ 太平洋に於ける英米共同軍事基地たる新嘉坡

◎ 蘭印をして自己の紐帶たらしめんご我が南進を阻む英米の策源地
新嘉坡

◎ 我が大陸政策に南方進出に重要課題を投げる南洋華僑の動向
国際變局極まりなき時急激に移り行く新嘉坡を捉へ本會は最近歸朝
せし全地有力なる會友某氏を招聘一席の講演を乞ひたるを機會に徒
爾ならずと本冊子を公に爲したる次第なり、識者の御高覽を乞ふ

昭和十六年五月

熱帯文化協會



目次

一、最近のシンガポール事情……………(一)

(一) 在留日本人の苦境……………(一)

(二) 國防の強化……………(四)

(三) 通信、新聞雑誌の檢閲……………(七)

(四) 輸出入の統制、物價の公定……………(八)

(五) 爲替及資金の統制……………(一三)

(六) シンガポール華僑……………(一三)

イ 日支事變勃發より英獨開戦迄の華僑……………(一三)

ロ 英獨開戦後の華僑……………(一五)

ハ 排日は依然として行はる……………(一六)

ニ 南洋華僑に對する工作……………(一九)

ホ 我南進政策と華僑……………(一九)

(七) 蘭印、泰國、佛印とシンガポールの關係……………(110)
一、南洋華僑に就きて……………(110)

以上

最近のシンガポール事情

最近のシンガポール事情と申しましても、日支事變勃發から本年の一月迄同地に居つて體驗し、且つ見聞した所及其後彼地から送つて來る二三の新聞や報告書等に依つて斷片的に申述べて見たいと思ひます。

(一) 在留日本人の苦境

最近國際情勢の緊迫するに連れ、英領マレーに住んで居る日本人の引揚げ云々と云ふ事が内地の新聞にも見へ、又色々の取沙汰もある様ですが、在留邦人としては、萬一の場合に處する、悲愴な覺悟をもしながら、政治的、經濟的困難に堪へつゝ、所謂、我國南進政策の先陣を承つて各々其職域を堅持して居ります。

國際政治關係からして、故意に歪められた、宣傳に躍らされ、又は弱者に對する、理非を度外視した、安價の同情の爲め、歐米人、印度人其他各國人迄が、反日的態度を示し、

日本品排斥を行つた爲め、支那人は申す迄もなく、一般外人の、日本人の店へ、出入する者が、一時殆んど跡を絶つ程になつた爲め、其營業の如何を問はず、邦人の困難は大變のもので、今尙ほ苦惱裡に呻吟して居る有様です。

一方同地に於ける、戦時經濟體制は、日に日に強化され、輸出入に對する、禁止又は制限は、益々其範圍が擴大され、唯さへ日貨排斥の爲め激減した、日本商品の輸入は愈々困難となりました。

又戦時國防條例は、次々と公布施行され「好マシカラザル人物」又は「英國皇帝及英國政府ニ對シテ不滿ノ念ヲ抱ク者」は何時にても退去を命ずることあるべし、と云ふ様な漠とした、然も適用の範圍の廣い、法令も施行される様になりました。

最近は一且歸國した者の再入國には、殖民地當局から、日本駐劄英國領事に對して、當該本人の、入國許可通達がなければ、日本駐劄の英領事も旅券に査證をしません、領事の査證がなければ勿論再渡航は出来ません、然も彼地に居住して居る間は、言ふ迄もなく、日本に歸國中でも、特に言動を慎まねばならぬ事情があります。

又最近在留邦人婦女子の引揚問題が、報ぜられますが、是はシンガポールばかりでなく、

マレー半島や、蘭領スマトラ地方在住の人達が、便船の都合上シンガポールに集まるので特に目立つのです。尤も毎年日本の諸學校の新學年開始前は、入學の目的で、シンガポール其他各地の、小學兒童の歸國が多く、又其の爲めの家族の移動も多いのですが、昨年から今春にかけては、國際關係の不安も伴ひ特に歸國者が多いのは事實です。

シンガポール小學校兒童數は、最高記録四百四五十名に達した事もありますが、近年は平均三百七八十名と云ふ所です、今年一月の兒童數は二百八十名程です、例年なら内地進學歸國者以上に、四月の新入學兒童があるのですが、今年は果して、どんなものですか、恐らく随分減少したでしょう、

英領マレー居住の邦人數は、近年大抵五千四五百名でず、そして最近歸國者が多いと云つても未だ四千位は居るでしょう。

兎に角是等在留邦人は、妻子を歸國させ、孤獨と不自由の中に、又國際情勢の不安の中又經濟的緊迫の中に、然も先に開戦と同時に、獨伊人等が、着のみ着のままで、全部收容されたのを、目撃して居る丈に、何と云つても不安と焦燥の念に驅られる事は、止むを得ないこと、思ひます。

(二) 國防の強化

獨伊との開戦以來、シンガポール港勿論マレー全半島の國防の強化された事は勿論ですが、昨年の秋頃迄は、駐屯兵の出入移動、兵器の搬出入は、秘密裡に行はれて居ましたが、昨年の十一月、十二月頃から、西太平洋の波高まると共に、殊に佛印及泰國關係、日蘭會商問題等が起るに及び、一般住民は不安を抱き、神經過敏になり、今にもシンガポールが、戦争の巷に陥るだらうと云ふ噂が高まるに連れ、住民を安心さす爲か、駐屯兵の増強、飛行機、戦車、トラック等の搬入は、新聞で殊更誇示するかの様に、書き立て、居る様です。シンガポール海岸一帯に亘り、鐵條網を張り、所々にトーチカを築き、又海岸の樹木や其他の遮蔽物を除去し、場所に依つては、市中の街路に迄トーチカを築き、郵便局や、電信局等は土囊を築き上げたり、セメントブロックで固めたりして居ります、然し海岸に張り圍らした鐵條網などに對しては、住民は、牛や山羊なら兎に角、敵を防ぐに何の役に立つか、などと云つて居ります。

國防と云ふ一面、住民を安心さす目的の下に、工築したものとすれば變なものです。

又棧橋への一般人の出入は、堅く禁止され、海面は機雷を沈め、船舶の出入は、僅かにシンガポール島と要塞島ブラカンマテとの間の狭い一つの水道が、残されるのみとなりました。

駐屯軍はイギリス、スコットランド、オーストラリア、印度、マレー土人等、各種の兵から爲つて居りますが、最近特に増強されたのはオーストラリア兵と、印度兵とです、濠洲兵も最近は大分素質が低下し、訓練も短期の者が多いさうです、又印度兵は印度國內の土王侯に屬する兵ばかりださうですが、人種が違ひ、言葉が相互に通じないと云ふまじ／＼のもの、様です、印度國民會議派は、今度の戦争に賛成して居ないので、彼等に屬する兵は出して居ないと云はれます。

義勇兵の徵用も大分強化され、爲めに、官廳や商社の、白人執務時間は、午前中に限られ、午後は軍事に従事して居ます、義勇軍には、白人の外に混血人、支那人、印度人、マレー人と色々の隊が有りますが、是等の連中は、愛國等と云ふ觀念よりは、白人の機嫌を取るとか、又は手當を目的と云つた方が多いのです。

又民間の防護團員の増加、訓練等も行はれて居ります、又飛行隊基地や、海軍根據地に

は、必要軍需機材が整備蓄積されて居り、又是に従事するアジア人の使用人も相當雇備されて居ります。是等の使用人は相當手當も良い様ですが、最近では任意退職を禁ずる規則も施行されて居ります。

飛行機の組立や、教習の爲めには、昨年早くから、米國の軍人が來て居ります、シンガポールに國際野球リーグ戦が有りますが、日本人との試合の際など、空軍チームに混つて來て居ります。

貯油槽は地上、地下共に相當有る様ですし、又プロブコム貯油島など陸上から見ても随分澤山の油槽が並んで居ります、最近では是等油槽所在地への接近は禁じられました。

國防は勿論シンガポール島のみでなく、殊に最近では、泰國との國境、ジョホール、トリガヌー、ケランタン等の支那海に面する、東海岸諸州にも、相當行はれて居る様です、軍需機材及食糧品は主として、濠洲から搬入されて居ります、然し現地でも間に合ふ物は購入して居ります、是等の請負は、白人にやらせ、白人は更に支那人や印度人等に下請させて居ります、尤も小口の物は印度人等も直接納入して居りますが、支那人に直接請負することは少いとの事です。

(三) 通信、新聞雜誌の檢閲

世界各國人の居住する土地柄、戦時下種々のデマや宣傳が流布さるゝ爲めか、通信、新聞雜誌等の印刷及搬入には極めて嚴重の檢閲が行はれて居ります。

各個人の書信の如きも、出入共に、開封檢閲される爲めに、一般に郵便の發着共に大變遅延されます、是等檢閲の爲めには、郵便局内に五十數ヶ國に亘る檢閲官が日々執務して居ります。

寫眞、繪葉書、年賀狀、クリスマスカード等の發送は特定の者に限られて居ります、新聞の海外への郵送は、新聞社、年賀狀等は特定の印刷屋に依頼して、發送して貰ふ外、個人として勝手に發送することは禁ぜられて居ります。

日本からの新聞雜誌の如き、檢閲多忙の爲めか、故意にか、時には一ヶ月以上に亘り、手にする事が出来ない事が有り勝ちです。

旅客の出入に對しても、所持の書籍、文章、手帳等、書いた物は一切檢閲を要し、出港の場合には、一切の書類、寫眞アルバム等まで、出帆數日前、是を檢閲官に提出しますと

検閲官は検閲封印の上検閲證と共に下げ渡します、旅客は、乗船後でなければ、果して自分の提出した書類が全部許可になつたか否かは分りません。

入國の場合も同様です、或る一例の如き、日本から新に渡航して來た青年が、船中で手帳に書いて置いた、或る感想文が検閲の結果、當局の忌諱に觸れ、入國を拒絶され、其のまま、歸國した事もあります、又信書の検閲から、古い過去の問題に迄遡つて、摘發され裁判に附せられた例もあります。

警察の特高係の白人の如き、日本に居つた事の有る者で、日本の事情に通じ、読み書きも言葉も達者で、和歌や俳句なども出来る者もあります、然も日支事變後日本に居た者もあります、又是等の白人が、教官となつて警察内で日本語を教授して居るさうです、又空軍や海軍の將校中、日本語を習つて居る者も可なり多いさうです、尤も彼等は特殊の言葉を習得すれば特に加俸があるさうです。

(四) 輸出入の統制、物價の公定

戦時經濟體制下物資の輸出入は、益々嚴重となり「ポンドブロック」以外の國からの商

品中、輸入禁止に屬する品目が約百種、制限品目に屬する商品が三百種の多きに達して居ります、輸入制限品目と云つても、過去の實績に重きを置き、然も其實績は一九三八年度を標準にして居ますから、日本品としては「ポイコット」の最も烈しかつた年で、殆ど日本からの輸入が杜絶して居た年ですから殆ど許可を取る事が六ヶ敷いのです、尙此の禁止や制限品目は、市場の情況に則して日々變更されます。

米國品の輸入も「ポンドブロック」外に屬しますから、相當法の適用を受けますが、其所は英米の間ですから、最近急に輸入が増加して居ります、英屬領でも、香港や加奈陀は「ポンド」建てない爲めに、法の適用の受けることには爲つて居ります。

英國品は昨年の初秋迄は何の彼の云つても、弗々輸入されて居ましたが、昨年の十一月頃から、減切り少くなつた様です、英本國に注文する商品でも、食糧品などは特別の係官が居て、注文は一切此係官に注文し、係官が案配して居ます。

輸入制限實施及英本國よりの輸入難と共に、屬領の濠洲や印度からの輸入が急に増加しました、殊に印度の綿布及綿製品は、數量が増加されるのみでなく、品質の點に於ても着々改良されて居ります、此點は我國綿業關係者も等閑に出來ない事と思ひます。

濠洲からは食糧品、金屬製品、軍需資材の輸入増加が顯著の様です。

物價の公定は、英獨開戦と同時に實施され、殊に重要食糧品、セメント、金屬類、建築資材等に對しては、價格を公定したばかりでなく、賣買、倉入、搬出入に至る迄、嚴重なる制度を設け、物資の不足を來さない様にしました。

從て食糧品を初め、其他の物資が殆ど輸入に依存して居る國柄にも係らず、比較的物資は豊富で價格の暴騰も抑壓出來たのです。

米は開戦と同時に輸入米の蓄積、價格の公定、又半島各地の産米の獎勵にも勉めて居ります。

又昨年十一月からは、消費者に「カード」を渡して居りまして、消費者は所定の米屋で購ふことになつて居ります。一人、一ヶ月の消費量は、三十六斤、約一斗四升位に當り外に麥粉、麵麩、麵類等の購入は自由です。

昨年日本が泰米や西貢米を買付けた當時は、新嘉坡では價額が公定されて居り、一方産地では、米價が騰貴した爲め、輸入商は買付が困難となりました、係官は某國が産地で買煽つたから、米價が暴騰して困るなどと聲明もしました。

本年の一月からは、政府が一手に米を輸入することになり、政府の發表によりますと、八十萬噸、三等泰米を契約したとか云ひます。

シンガポール地方の住民は、一般に泰米を好みます、政府でビルマ米を喰べることも奨めて居ります、公定相場は時々變更されますが、泰米一袋（百八十斤入）日本金にして二十六圓七十錢、二等二十五圓八十錢、三等二十三圓九十錢位に當ります。

其他濠洲麥粉一袋（五十封度）金四圓、瓜哇砂糖白双一斤十六錢五厘、牛豚肉百六十匁一斤日本金九十錢、煉乳一封度金四十錢と云ふ所です。

又昨年十一月、印度のデリー市で印度、濠洲、ニュージーランド等を含むスエズ以東屬領經濟會議を開き、相互の物資の配給の圓滑を計り、出來る丈け多くの物資を、英本國に供給しようと思ふことになりました、又此會議に蘭印が「オブザーバー」と云ふ名目で、參加して居ることは、如何に蘭印が英國と協力し、又依存もして居るかと思ふことも、日蘭會商開催の折柄、吾人の特に注意せねばならないことと思ひます。

輸出の方では、輸入諸物資の流出を防止すると共に、ゴム、錫等の産物の敵國へ流出を防ぐことに勉めて居ります、從て日本へ輸出される是等の商品に付いても、絶えず問題に

なる様です。

(五) 爲替及資金の統制

金の買上げ、民間手持の外貨の強制買上げ、無爲替輸出の防止、海外送金の制限、旅行者の携帯旅費の制限、有價證券及び保險證券の搬出禁止、外國に所有する資産及び有價證券の賣買の制限等、あらゆる角度から資金の海外逃避を防止して居ります。

外國爲替の賣買契約は、政府特定の英國銀行に依てのみ扱はせて居ります。

旅行者の携帯旅費は、百弗迄と云ふことになつて居ります、旅費の許可申請に對しては大體二百五十弗迄は許しますが、夫れ以上の許可を取ることは面倒の様です。

又在留日本人が、日本に居る家族の生活費を送金する場合も、毎月許可は取れますが、日本國內に於ける日本人の生活程度を調べて居りますから、其の人の職業や社會上の地位に依つて、多少の參酌は有る様子ですが、大體一ヶ月二百圓見當の様です。

華僑等の郷里への送金は、一ヶ月五十弗迄ですが、更に是を引下げるとかも云はれて居

ます。

旅行者に對しては、出港の際文書の檢閲の面倒のことは、先に述べましたが貨幣、金銀寶石、有價證券の持出を防ぐ爲めに、乗船前一々身體検査を致します、日本婦人など帶まで解かされます。

寶石や装身具としての金銀等は、豫じめ申告すれば許可する様です。又手廻の荷物も、今迄可なり大量の物も黙認して居り、日本人でも一人て五六十個の手荷物を持つて出たものですが、最近は大變八釜敷なつて原則として身の廻りの物だけとなりました。

資金逃避防止の結果は、日本人經營ゴム栽培會社の如き、事業が好況の爲め事業地には相當多額の遊金が有るにも拘らず、凍結されて仕舞つて、是を本社に送金出来ないのであります。

(六) シンガポール華僑

(イ) 日支事變勃發より英獨開戦迄の華僑

シンガポール華僑の排日運動の熾烈なるは實に言語に絶するものがありました、支那本

國からは愛國救國運動と云つて續々宣傳員が派遣され、是にマレー華僑否南洋華僑總元締とも云ふべき陳嘉庚及其一派が支那總商會、各地の郷黨會、各種同業組合、クラブ等を總動員をし、或は男女小中學校の職員及生徒、又は一般の青年男女を動員して、或は救國公債の募集に、或は難民救濟の名を籍つて、寄附を強要し、或は街頭に造花を賣らすなど、手段の如何を撰ばないと云ふ有様でした、従つて日本人と取引した疑の有る者に對しては、耳を切り落すとか、傷つけるとか、コルターを塗る等のテロ行爲に出るばかりでなく多額の罰金を課する等の不法行爲が頻々として行はれました、日本人の店先には晝夜を別たず、監視員をして監視させ、偶々日本人の店へ出入りする第三國人に對して迄妨害すると云ふ有様でした、以前のポイコットの際は支那人でも第三國人を通じて秘かに日本品を購入する者も有りましたが、今度は頗る徹底した手段を取つた爲め、第三國人ですら日本人との取引を憚る様になりました。

日本人の商社又は鐵鑛山等に雇傭されて居る、使用人又は勞働者を強迫したり、無理強ひの退職をさせ、然かも退職後の生活を見てやるのでも有りませんから、一時是等退職者は生活にも窮する者が大分出來ました。

又支那人の倉庫や店頭に有る日本商品を調査記帳し、且つ其後の販賣や移動を監視するとか、破棄するとか、不法の限りが公然英殖民地内で觀過されたと云ふ現象でした。

(ロ) 英獨開戦後の華僑

支那人の排日運動の狂奔、又秘かに彼等を煽動するとか、又は彼等に運動資金を供與した某國人も有つたとか、色々の噂もありましたが、此間に乗じて、共產黨分子の潜入となり、遂に政府關係の船渠とか、鐵工場とか、或はゴム工場とか、各方面の産業に長期に亘る惡質の罷業が起つて來た爲めに、當局でも、是が鎮壓解決には大分手を焼いた始末でした。

英獨開戦と共に、政府は治安維持の必要上、俄然罷業其他の不法運動に對する取締を嚴重にし、又支那人の寄附金募集にも、制限法を設け、又集めた金の收支の報告公開を求めると、爲めに今迄寄附金の使途を誤間化して居た運動員や、幹部等も狼狽しました。

蔣介石の敗退奥地遁入と共に、運動員に對する、本國からの資金の給與の途も絶たれた爲め、又陳嘉庚一味要人の國外退去命令等もあつた爲め、さしも熾烈を極めた、惡質排日運動も表面漸く下火となりました。

(ハ) 排日は依然として行はる

表面的眼に餘る排日運動は無くなりましたが、排日は今でも尙行はれて居ます、中以上の商人や其他の實業家達は各其所屬の同業組合の規約に縛られて居りますから、近く解消されるとは思はれません、是は蔣政權を支援する英領治下であり、又蔣政權より派遣された領事や其他の要人や有力者に指導監督されて居る爲めです。

然し一方には、追々事變の真相や其後の成行を認識し又認識しようとする者も段々多くなつて來て居る事も見逃がす事は出来ませんが、彼等社會間の脅迫を恐れて是を態度に表す事が出来ないのだと思ひます。

一般に地方に居る者よりは、大都市に居る者の方が事態の真相を知つて來たのか、又は事變に厭きて來たのかと思はれる節は、昨年十一月、十二月頃にかけて蔣政權の要人吳鐵城が、蘭印各地及英領マレーを巡廻し、蘭印總督及マレー總督、有力官權、華僑の要人有力者等とも會見し、此機會に救國難民救濟寄附金募集をしました。其寄附應募額は、都市に少く地方の方が却つて多かつたと云はれます、蘭印全體で六百餘萬元集まつたが、數の點から云つても、有力者の多い點から云つても、蘭領第一の瓜哇では、二百餘萬元に過ぎ

ず、又英領マレーでも五百九十萬元の内シンガポール市では僅かに十萬元に過ぎないと云はれました。

又海南島、廣東、厦門等の日本の占領地帯出身の華僑も段々其の郷國の真相を知る様には成つて來たものゝ、思ひ切つて歸國して、見る事も出来ないうて居る様子です、海南島の者等の中には、今尙ほ佛國租借地廣州灣を経て、又はジャンク等で秘かに渡南する者も時々あります、一説には彼等の郷里の親戚故舊等から來る郷里の真相を傳へる様の書信は、途中で沒收され、彼等の手に入るのを防止して居るらしいとの説もあります。又一面には其郷國に歸住したいと思つて居る者も、何しろ永年南洋に住んで居る爲め——資産や事業の關係から、又は親戚や友人等に累を及す事を恐れて、斷行出来ないのだとも云はれます。南洋抗日華僑の總元締で、且蔣政權とも關係の深い、福建省厦門出身の陳嘉庚は昨年五月戦線慰問と云ふ名目で、各地華僑代表者と重慶へ行き、一時は英植民地政府との間に、何か問題があつてシンガポールに歸來出来ないのだとの流説もありましたが、漸く昨年十二月歸南しました、陳嘉庚の歸南と共に、排日運動が再燃するだらうとも思はれましたが歸來後の彼は比較的沈黙を守り、殊更に排日運動をする様子も見へません、且つ彼は重慶

政府内の國共兩派の暗闘軋轢を自認して居るばかりでなく、郷里福建省主席陳儀の虐政を彈劾し、重慶に通電したり、福建省出身華僑の大會を開くとか、又最近は一切の公職を退き外遊するとかと云はれます、從來彼は事業の上に、新聞經營の上に、亦商總會及其他の公共團體の仕事の上に、多年壓制的暴威を振つて來て居る爲めに、彼に對しては相當反感を抱く者もあります、向後南洋華僑の動向の上にも或は轉換期に達して居るのではありませんまいか。

陳嘉庚と常に對立的立場にあつた胡文虎は賣藥萬金油の發賣元で、資産もあり、新聞も經營して居り、一般華僑の爲めにも盡して居り、従つて華僑の間にも陳嘉庚に比して、人氣がある様です、彼の支店出張所は支那各地に及んで居ります、彼の資産を爲したのは、製藥の原料及材料を日本から購入して居たばかりでなく、色々の點で日本に負ふ所が多いとか云はれます。

厦門に有つた水産航海學校の教職員は事變後逃避して來てシンガポールで開校して居りますが、教師は日本で教育を受けた者達故、教材の如きは主として日本に依るとも聞いて居ります。

(二) 南洋華僑に對する工作

支那第一革命運動以來、支那本國の政變に對して、直接間接南洋華僑の演じた役割は、實に大きなもので今次事變にも彼等が蔣政權に對する物質的精神的援助の大なるは非常なもので蔣政權としても南洋華僑の懷柔把握には極力つとめて居ります。

日本に於ても彼等に事變の真相を認識せしめ且日本の眞意を理解せしむる爲め色々の工作を行つて居る事と思ひますが、此種の工作は一面には秘密裡に側面裏面から功妙に行ふ事が必要と思ひます、華僑としても内心は何う考へても、表面的には急には動かないでしよう、又殖民地當局としても眼を光らせて居りますし、相當干涉もするでしょうし、又例の國防條例の適用をも考へねばなりません、殊に我臺灣籍民等の中にも政府官權や商總會方面の手先となつて働らいて居る者もあり、彼等は日本及日本人の爲めにならぬ事をし居るさうです。

(ホ) 我が南進政策と華僑

華僑等は佛印に、泰國に、或は英領マレーに、果た又蘭印に、英領ビルマに牢固として抜く可からざる地歩を占めて居ります、我國の南進政策の遂行上又は南洋各地との通商關

係の調整の上に、各地政府當局と正面交渉を行ふ事は元より申すまでもない事ですが、一面には側面運動として彼等華僑に工作する事は最も肝要の事と思ひます。

(七) 蘭印、泰國、佛印とシンガポールの關係

地理的に經濟的に、人間の交流の上に、シンガポールが佛印、泰國、蘭印、ビルマ等の諸國の中心地を爲して居る關係上、是等の國々の出來事に對しては直接間接眞疑様々のニユースが頻々と入つて來ますが、此問題に關しては自ら事情が違ひますから此處では省略致します。

終り

南洋華僑に就きて

所謂華僑即ち海外に移住せる支那人の數は八百萬人と云ひ或は壹千萬人と云ひ正確の數は捕捉し難き所なれども何れにしても莫大の數に上るものなり。然かも彼等の中には其地に居住すること數代の久しきに亘り巨大なる産を爲し又抜く可からざる勢力を扶殖せる者も亦頗る多し。

華僑がよく其移住地に永住定着するに反して我日本人の海外居住者が永住性に乏しきことはよく非難もされ論議もさるゝ事にして是は國民性の然らしむる所もあらんが其主なる原因は各其母國國情の著しき相違より來るものならん。支那人が古くより海外に移住せるは彼等の本國政情の變動常なく殊に南方支那の如き人口過剩にして然も近代産業の發達に遅れ此過剩人口吸収する事能はず生活極めて困難なる爲ならん。

彼等華僑自ら曰く吾々の海外に移住したるは(A)飢餓より逃れんが爲め(B)政情の變化より身の危険を避けんが爲め(C)不義理を犯して郷土に留り難き爲め、大體此三ツの原因に依るも其内大多數の者は(A)の飢餓より逃れんが爲めなりと。

海外に移住したる彼等にしても常に其父祖の地を懷しまざるに非らず産を爲したる者も亦産を爲さざる者も常に其郷國に關心を寄する事決して他國民に劣るものに非ず唯其移住地が彼等の本國に比して生活上遙かに安易なるが爲めなり。

移住の當初彼等は其地の政治上又は社會的壓迫や侮蔑に堪へ又子弟の教育の如きも其地に適應する様之を施せるなり。

然かも彼等が如何に其母國に關心を有するかは一度母國に政變起り又は母國と他國との

外交上の葛藤起るや其關心熱意の熾烈なる事は支那第一革命以來母國の革命にあらゆる協力を借まざる又他國との紛争起るや彼等の社會の強要壓迫ある爲めとは云ひながら自己の不便不利を忍んで母國と歩調を一にせる事は吾々日本人の現地に居住して各種の生業を営み居る者の彼等の執拗なる排日を蒙り多年苦心の結果より得たる基礎を覆され爲めに當然爲し得可き産を爲し得ず或ば成功し得可き事業も成功し得ざるが如き苦境を多年に亘り幾度となく嘗めさせられたる所に依りても明かなり。

吾々日本人が海外に於て永住性なしと單に其結果よりしてのみ批判さるゝは實に慨かはしき次第なり。

扱て壹千萬人と云ひ八百萬人と云ふ莫大の數に上る華僑の分布は殆んど世界の各地に及べるも其數の上に於ても亦經濟的政治的の點よりしても壓倒的勢力を有するは所謂南洋華僑なり。

南洋華僑の居住區域は佛印、泰國、フィリッピン、馬來、蘭印、ビルマ等の廣汎なる地域に亘り其數六百萬人乃至七百萬人と稱すれども恐らくは七百萬人を突破する事遙かに大なるものあらんか、彼等は其居住地に於て夫々經濟上抜く可からざる牢固たる勢力を扶殖

し居り且又其居住地の政府に於ても彼等の勢力抜く可からざるもの有るを認め且つ是を利用し來たる爲め遂には其地に於ける政治上にも直接間接根強き勢力を有するに至れり。

而して南洋華僑中心的勢力を爲し居るは新嘉坡を中心とする英領馬來の華僑なり。

馬來に於ける華僑の數は一九三八年度同地政府の統計に依れば貳百貳拾貳萬餘人にして馬來總人口五百貳拾七萬餘人に對して實に四割二分強に當り土着馬來人の總數を凌駕するに至れり、然かも其經濟上の勢力は低きは其日暮しの勞働者より大資本家に至る迄産業のあらゆる部門に亘り又全土の山間僻地に至る迄喰入り彼等無くしては馬來の産業は成立せざるが如き有様なり。従つて政治方面に於ても各地の市參事會議員として或は立法議會會議員として侮り難き勢力を有するに至れるなり。彼等華僑が何れもよく其地の政治情勢に順應して定住し居る事は既に述べたる所なれども亦一面彼等が彼等の民族及母國の興廢に對して有する關心の熾烈なる事も亦意表に出るものあり、彼の孫文の第一革命の志士等が一度破るゝや新嘉坡地方に亡命し在住華僑の篤き庇護の下に第二、第三革命運動の基礎を築きたる點等よりすれば所謂支那革命を成功せしめたる一半の功は彼等南洋華僑に歸すべきか現南京政府の汪精衛氏の如きも曾て革命に破るゝや身を南洋華僑に寄せて再起を計りた

るなり。

又支那本國と他國との國際紛争の起るや常に直接間接に運動し夫れが又或る程度國際間に影響を及ぼす事ある事も觀過す可からざる所なり。先の滿洲事變及夫れに依る國際聯盟の紛争以來今次事變に至る彼等の執れる排日運動及現蔣政權に對する支持の堅き實に恐る可きものあり、彼等は其屬する母國政權首脳部と協力して勢援と助力を惜まざるものあり、彼等の蔣政權に寄する支援も要するに彼等の民族的母國愛の發露に他ならざる事一度母國の國內的又は國際的真相を知悉するに至れば彼等の思想及運動も亦急轉回を來す可きは明かなる所なり。

蔣政權にしても南洋華僑の支援を失はゞ例へ所謂英米の支援あるとしても一層其没落を早むるものあらん。

又日本の佛印に於て、泰國に於て乃至英領馬來に於て將た又蘭印に於て經濟上の發展を爲す上には必ずや彼等の協力を得るに非ざれば頗る困難を來す事情あるべし、又反對に彼等の全面的協力を得ば其地に於ける政治上の多少の不便は有るとしても必ず有利に進展するならん。

日支事變解決後支那本國の開發の上に於いても彼等の支援協力を得ば是又測り知る可からざる效果あらん、彼等は母國の政情さへ安定せば母國産業の開發に喜んで投資參加すること有る可きは先の上海事變以前一時上海に勃興せる諸事業に直接間接參加投資もし又興味を持ちしこと夥しきものありしなり。

今次の日支事變に對して彼等は非常に慷慨悲憤しあらゆる手段に依りて排日運動を起し今尙之を繼續し居るも最近に至りては内々の現状及其成行に對して認識を深め又は之を理解せんとする者漸く多くなるとする傾向あり。

唯彼等は彼等社會の強迫を恐れ又は他の者の思惑を慮り之を表面口にし又は態度に表はさざる迄なり。

「今次事變の解決上」及「事變解決後の支那本土産業開發上」並に「彼等の居住する南方諸國と日本との通商上其他經濟上の調整を爲す上に」彼等をして東亞の眞想、及日本の眞意並に國際間の情勢を知悉せしむる事の緊要なる事は既に屢々述べたる所なり。

彼等に對する誘導運動は我國に於ても夫々の機關を通じて行はれ又行はれんとしつゝあらんが極めて巧妙に又内密に行はざる可からざる性質のものならん。

此裏面工作には彼地の事情に通じ又彼地に於て相當の知己多き者をして秘密裏に運動せしめざれば彼等が内心如何に考へ居るとも必ず外聞を憚り且つ狐疑する所あらん。

411
95

終

昭和十六年五月十日印刷
昭和十六年五月十五日發行

(非賣品)

東京市京橋區横町一ノ五
梅田ビルディング二階

熱帶文化協會

發行者 男爵岩倉道俱

東京市芝區三田豊岡町三五

印刷者 松永元次郎

東京市芝區三田豊岡町三五

印刷所 改進堂印刷所

東京市京橋區横町一ノ五
梅田ビルディング二階

發行所 熱帶文化協會